

株主・投資家の皆様へ

第12期 事業報告書

平成15年1月1日から

平成15年12月31日まで



SiIX
We care.

シークス株式会社

第12期 事業報告書

平成15年1月1日から平成15年12月31日まで

CONTENTS

- 株主の皆様へ…………… 1
- 営業概況…………… 2
- 部門別の概況…………… 3
- トピックス…………… 5
- グループ経営戦略…………… 6
- グループ業務内容…………… 7
- 連結財務諸表…………… 9
- 単独財務諸表…………… 11
- 株式の状況…………… 13
- 会社概要…………… 14

株主の皆様へ

株主の皆様には日頃から温かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに第12期事業報告書をお届けするにあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。
昨年度は、2001年以降のいわゆるITバブルからの本格的な回復の年とすべく、液晶関連を中心とした情報通信分野ならびに車載関連分野を重点とした営業推進を行ってまいりました。しかしながら、携帯電話用液晶モジュールの開発・販売ビジネスが、製造・販売面でSARSの間接的影響を受けたことや、欧州の主要顧客についてモノクロからカラーへの切り替えの端境期が長引いたこと等から立ち上げが遅れ、遺憾ながら当初計画を下回る結果となりました。ただ、下期に入りましたからは、当社グループ独自開発の液晶駆動用ICの量産納入が開始でき、また欧州でもカラー製品の販売が始められるなど、計画したプロジェクトが立ち上がってまいりましたので、今年度はこれらの本格的拡販を目指しているところがございます。また、液晶関連以外のEMS（電子機器受託製造）事業ならびに商社・物流事業の状況につきましては、電子・電気、自動車等当社事業の関連製造業においては、一部に国内回帰の現象もありますが、全体としては引き続き中国などアジアを中心とする海外生産の増加が続いており、部材調達・物流やEMSの引き合いは活発でございます。当社といたしましては、物流・製造両面での海外多拠点展開による対応力を武器として、こうしたニーズを新規ビジネスに繋げ、今期の増収・増益計画の達成に向け努力してまいる所存でございます。どうか引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成16年3月

代表取締役会長兼CEO 村井史郎



営業概況

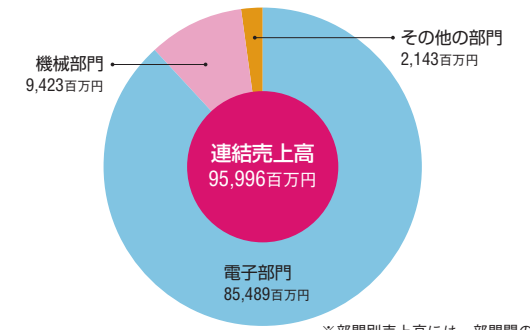
当連結会計年度の世界経済は、イラク戦争やSARSの影響で年度前半は不透明な状況が続きました。第3四半期からはユーロ圏は停滞が長引いたものの、米国は個人消費・設備投資の増勢が鮮明になり、アジアについてはSARSの影響から比較的早く立ち直りを見せ、中国、NIESを中心に内需と外需双方に支えられ景気が拡大しました。また国内においても海外景気の回復を反映して、企業収益の改善、株式相場の持ち直しなど、やや明るさが出てまいりました。

当社グループの主要事業に関連する業界の状況を見ますと、エレクトロニクス業界においては、高機能デジタル家電の好調により民生電子機器の国内生産が回復しましたが、全体としては海外需要増加への対応、コスト削減等のために引き続き海外生産移転が進展しております。また、車載関連機器につきましては、部品・機器の電子化と、自動車の海外現地生産拡大に伴う電装品の海外生産が急速に拡大しております。

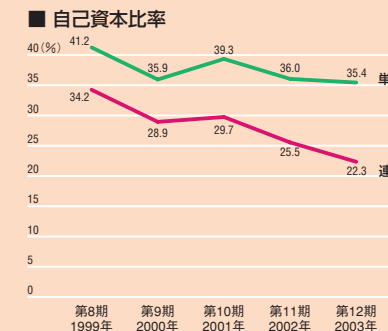
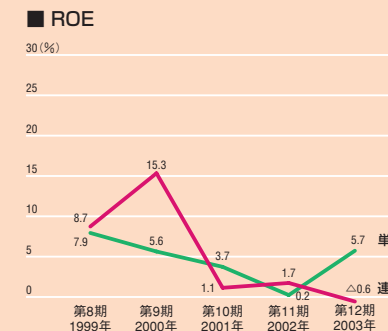
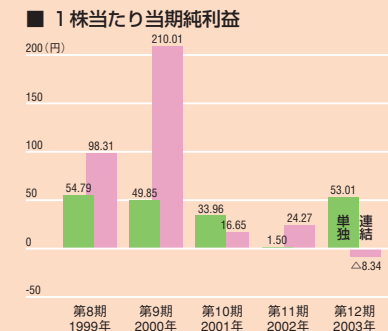
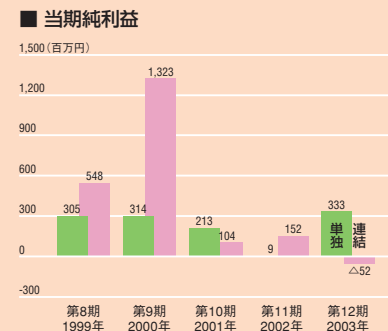
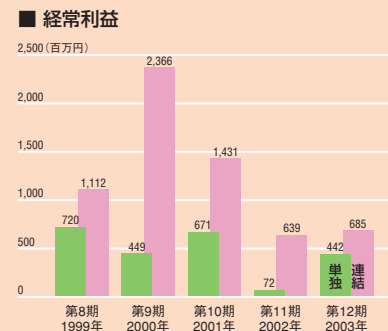
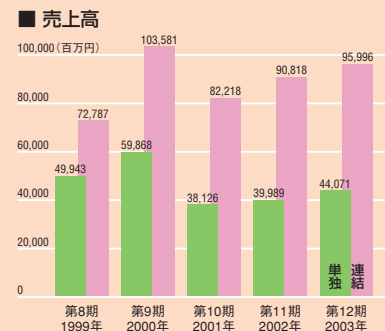
こうした状況の中で当社は、エレクトロニクス製品の中で情報通信分野、特に携帯電話に関連する部品・部材および車載関連電子部品・機器を重点に、メーカーの海外部材調達・海外生産二

ーズの拡大を捉えて、部材物流及びEMS事業を積極的に展開いたしました。その結果、当連結会計年度の売上高は959億9千6百万円となり、前連結会計年度と比べて、51億7千8百万円の増加(5.7%増)となりました。利益面においては、経常利益は6億8千5百万円となり、前連結会計年度と比べて4千6百万円の増加(7.3%増)となりました。しかしながら、赤字子会社で繰延税金資産に評価性引当額を計上したことから税負担率が増大し、その結果当期純損失は、5千2百万円となり、前連結会計年度と比べて2億5百万円当期純利益は減少いたしました。

部門別連結売上高構成



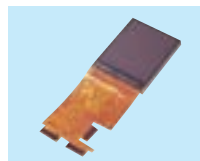
※部門別売上高には、部門間の内部売上高または振替高1,059百万円が含まれています。



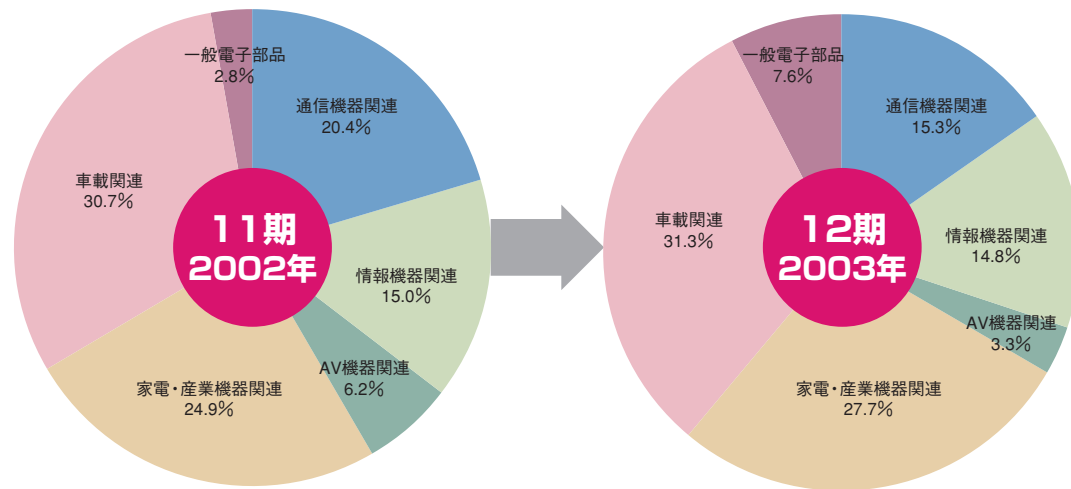
部門別の概況

電子部門

当社グループのコアになる部門で通信機器、情報機器、家庭電気機器およびその他産業機器、車載関連機器、一般電子部品・デバイス等に係る完成品、組立品、基板実装、部品単体・キット等の領域を幅広くカバーしております。欧州向け携帯電話用LCDモジュールの出荷等が減少しましたが、デジタルビデオカメラ用部材、アジア向け携帯電話用LCDモジュール、自動車用フロントパネル部材等の出荷が増加いたしましたので、当連結会計年度の電子部門の売上高は854億8千9百万円となり、前連結会計年度に比べて、71億4千8百万円の増加(9.1%増)となりました。また営業利益は18億4千1百万円となり、前連結会計年度に比べて2千万円の減少(1.1%減)となりました。



電子部門売上構成比率の推移



電子部門品種別売上高

	第11期 2002年		第12期 2003年	
	金額 (百万円)	構成比率 (%)	金額 (百万円)	構成比率 (%)
通信機器関連 (携帯電話等)	15,976	20.4	13,121	15.3
情報機器関連 (PC周辺機器、事務機器等)	11,773	15.0	12,630	14.8
AV機器関連 (音響機器等)	4,824	6.2	2,837	3.3
家電・産業機器関連 (家電、パワーツール等)	19,491	24.9	23,651	27.7
車載関連 (カーオーディオ、モーター、メーター等)	24,044	30.7	26,727	31.3
一般電子部品	2,206	2.8	6,493	7.6
計	78,314	100.0	85,459	100.0

※外部顧客に対する売上高のみを表示しております。

機械部門

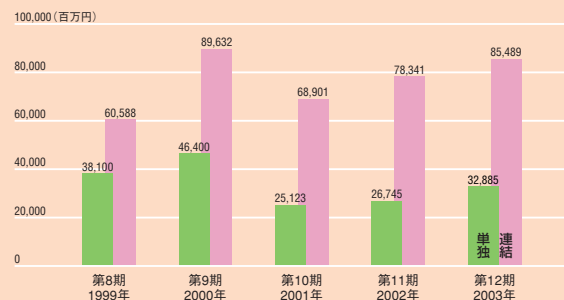
オートバイ用部材、自動車用ワイヤーハーネス部材、設備機械等を取り扱っておりますこの部門は、自動車用ワイヤーハーネス部材の出荷は堅調に推移しましたが、オートバイ用部材の出荷が減少いたしました。その結果、当連結会計年度の売上高は94億2千3百万円となり、前連結会計年度と比べて、15億7千4百万円の減少(14.3%減)となりました。また営業損失は2百万円となり、前連結会計年度と比べて9千5百万円営業利益は減少いたしました。



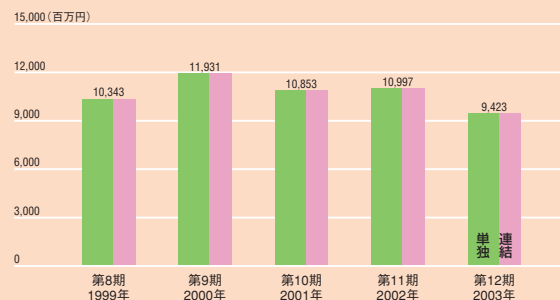
その他部門

フロンガス、合成樹脂、印刷インキ、化成品等を取り扱っておりますこの部門の、当連結会計年度の売上高は21億4千3百万円となり、前連結会計年度と比べて、4億4千万円の減少(17.0%減)となりました。また営業利益は1億3千5百万円となり、前連結会計年度と比べて9百万円の増加(7.6%増)となりました。

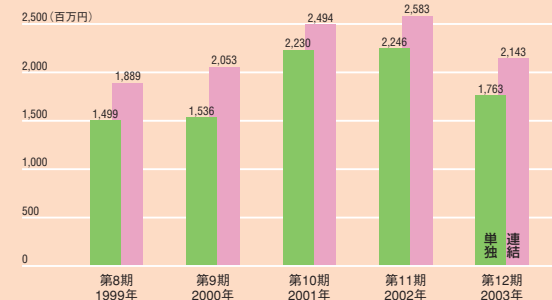
電子部門売上高



機械部門売上高



その他部門売上高



トピックス



2003年

●組織の変更を行いました(3月)

業務拡大に伴う営業体制強化を目的として、営業推進部の新設および営業グループの再編を行いました。

●デバイススタイルブランド製品の販売開始(3月)

デザイン家電メーカーの(株)デバイススタイルが、エスプレッソマシン、ワインセラー(1本用・6本用・12本用の3種類)等の新製品を3月に降相次いで発売いたしました。当社は、部材調達・生産・物流に関わっており、新しい完成品事業分野として取り組んでおります。

●ISO9001:2000を取得(4月)

当社は、国際品質規格であるISO9001:2000の認証を取得いたしました。ISO認証機関は、(株)日本環境認証機構(JACO)です。

●生産工場の拡張(4月～6月)

当社連結子会社である、Sluzba SiIX Electronics s.r.o.およびSiIX EMS Dongguan Ltd.、持分法適用会社である、Takaya SiIX Electronics(Shanghai)Co.,Ltd.の3工場は、業務拡大のため工場の拡張を行いました。

●Sluzba SiIX Electronics s.r.o.がISO9001:2000を取得(9月)

当社の連結子会社である、Sluzba SiIX Electronics s.r.o.が、国際品質規格であるISO9001:2000の認証を取得しました。

●イスロン社TFTドライバーIC販売開始(9月)

当社連結子会社であるイスロン(株)は、携帯電話用のTFT(薄膜トランジスター)液晶を駆動する超スリムLCDドライバーICの販売を開始いたしました。

●立会い外分売の実施(10月)

当社株式の分布状況改善のため、立会い外分売(50万株)を実施いたしました。

グループ経営戦略



●経営の基本方針

先進国における市場の成熟、消費者ニーズの多様化、アジアを中心とした新興市場の成長など、近年の世界的なマーケット構造の変化に対して、企業は調達・製造・販売・物流等あらゆる面で、グローバルかつタイムリーに資源を配置・活用することが経営の重要課題になってきております。当社グループは、このような企業の新たな課題解決を支援することを企業目的とし、永年にわたり手がけてきたエレクトロニクス関連分野を中心に、「世界に点在する様々なニーズを自在にコーディネートし、顧客に具体的なビジネスメリット(顧客価値)を提供する『グローバル・ビジネス・オーガナイザー』たること」を事業の基本方針としております。こうした企業活動を通して「世界のリソースの有効活用を追求し、社会システムの活性化と人類の進歩に貢献すること」を当社の企業理念としております。



●経営戦略と対処すべき課題

当社グループ事業のコア領域であるエレクトロニクス並びにカーエレクトロニクスの分野においては、日系企業、外国企業を問わず、製造メーカーの設計開発・部材調達・生産・物流等の各段階において、国境を越えた水平分業化がますます進展しております。当社グループは、こうしたニーズに対して、自らの強みと認識しております「製造機能を併せ持つ商社・物流機能」と「グローバルな物流・製造拠点ネットワーク」を活かして、最適なサービスを提供していくことにより事業の拡大をはかる所存です。そのために当社グループは、①国をまたいだジャストインタイム納入に対応できる物流体制の整備、②部材コスト削減のニーズに対応したグローバルな部材調達力・提案力の強化、③デジタル機器、車載機器など高度な製品の海外生産増加に対応したEMS拠点網の整備及び製造技術の高度化、④液晶モジュール、カメラモジュール、ドライバーICなどキーデバイスの自社供給力及び外部調達力の強化、⑤各種電子機器・車載機器の融合、デジタル化、ネットワーク化などエレクトロニクス分野の変革に着目した新規ビジネスの開拓などを重点課題として取り組んでまいります。

グループ業務内容

当社は、12カ国にまたがる海外拠点ネットワークをベースに、電子部品・部材の調達、販売、物流などの商社業務と基板実装を中心とした製造機能を組み合わせた独自のEMS(電子機器受託製造サービス)をメインの事業として展開しております。

1. 部材調達・物流加工

シンガポール・フィリピン・香港・中国・ドイツ・アメリカに設置した営業・物流拠点をハブに、世界のあらゆる地域から、電子部品・部材を調達し、検品、キット編成、生産工場への納入から組立て品の顧客への納入まで、お客様の多様なニーズに合わせた商社・物流業務を行っております。40年以上にわたり蓄積した経験と調達ソースが有力な武器となっております。

2. EMS

お客様の海外生産の拡大ならびに消費地の近くで生産し販売するという属地的なニーズに対応して、タイ、中国、インドネシア、スロバキアなど海外の主要な生産基地に、自社工場またはアライアンスによる製造拠点を10ヶ所設置しております。海外生産で最も重要な課題となる部材調達機能は勿論のこと、「日本のものづくりを海外でも可能にする」製造技術・品質管理を備えて、さまざまな電気・電子機器や車載機器用の基板実装・完成品の製造を行っております。

3. デバイス・モジュール

EMS事業のほか、重点的に取り組んでおります通信分野においては、携帯電話のキーコンポーネントとなる液晶モジュールやカメラモジュールなどを、独自の部材調達ソースと最適な製造場所を当社でコーディネートすることにより製造し、携帯電話メーカーに販売する事業にも取り組んでおります。また、液晶モジュールの基幹部品である液晶駆動用IC(ドライバ)については、子会社・イスロン(株)にて開発し当社が販売しております。



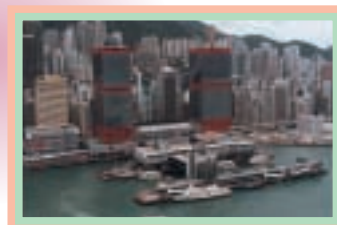
SiIX Bangkok Co., Ltd.
所在地：タイ・バンコク市
設立：1989年
従業員：11名



SiIX EMS Dongguan Ltd.
所在地：中国・東莞
設立：2002年
従業員：394名
主な生産品目：
車載機器・デジカメ基板・
携帯電話保護回路



SiIX EMS (Thailand) Co., Ltd.
所在地：タイ
設立：1988年
従業員：1,599名
主な生産品目：カーオーディオ・家電基板



SiIX H.K. Ltd.
所在地：香港
設立：1975年
従業員：136名



Takaya SiIX Electronics (Shanghai) Co., Ltd.
所在地：中国・上海
設立：2001年
従業員：500名
主な生産品目：家電・カメラ基板



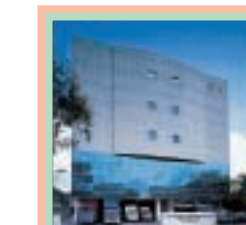
SiIX (Shanghai) Co., Ltd.
所在地：中国・上海
設立：1999年
従業員：21名



Sluzba SiIX Electronics s.r.o.
所在地：スロバキア
設立：2001年
従業員：63名
主な生産品目：家電・車載機器基板



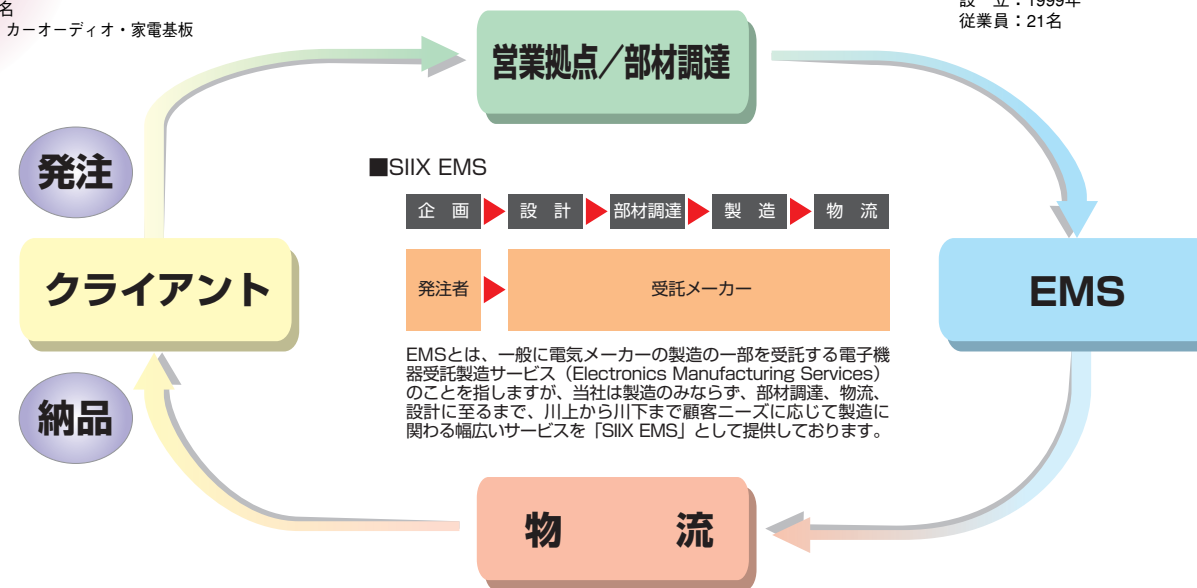
SiIX Europe GmbH
所在地：ドイツ・ヴィリッヒ
設立：1973年
従業員：29名



SiIX Singapore Pte. Ltd.
所在地：シンガポール
設立：1974年
従業員：46名



PT SiIX Electronics Indonesia
所在地：インドネシア
設立：1994年
従業員：423名
主な生産品目：スキャナー・家電基板



連結財務諸表

比較連結貸借対照表

科目	当期末	前期末
	百万円	百万円
資産の部		
流動資産	30,574	27,448
現金及び預金	5,395	4,103
受取手形及び売掛金	17,410	15,196
たな卸資産	6,443	6,563
繰延税金資産	187	76
その他	1,387	1,932
貸倒引当金	△249	△424
固定資産	7,943	7,749
有形固定資産	5,441	4,834
無形固定資産	55	77
投資その他の資産	2,447	2,837
投資有価証券	1,518	1,402
出資金	330	339
長期貸付金	137	350
繰延税金資産	134	655
その他	704	502
貸倒引当金	△378	△412
繰延資産	2	4
社債発行費	2	4
資産合計	38,520	35,202

科目	当期末	前期末
	百万円	百万円
負債の部		
流動負債	27,849	22,973
買掛金	14,759	11,987
短期借入金	11,130	9,228
未払費用	705	656
未払法人税等	401	410
賞与引当金	52	72
繰延税金負債	50	104
その他	751	512
固定負債	1,802	3,000
社債	300	300
長期借入金	992	1,867
退職給付引当金	176	391
役員退職慰労引当金	161	180
繰延税金負債	4	—
その他	167	260
負債合計	29,652	25,973
少数株主持分	275	261
資本の部		
資本金	2,144	2,144
資本剰余金	1,853	1,853
利益剰余金	5,771	5,445
その他有価証券評価差額金	△121	△121
為替換算調整勘定	△1,054	△353
資本合計	8,592	8,967
負債・少数株主持分・資本合計	38,520	35,202

※連結貸借対照表・連結損益計算書・連結剰余金計算書・連結キャッシュ・フロー計算書の記載金額は、それぞれ表示単位未満切捨てにより表示しております。

比較連結損益計算書

科目	当期	前期
	百万円	百万円
売上高	95,996	90,818
売上原価	90,202	84,728
売上総利益	5,794	6,089
販売費及び一般管理費	4,980	5,141
営業利益	814	947
営業外収益	282	458
営業外費用	410	767
経常利益	685	639
特別利益	429	—
特別損失	277	224
税金等調整前当期純利益	837	414
法人税、住民税及び事業税	500	401
法人税等調整額	370	△135
少数株主利益(△)又は損失	△18	4
当期純利益又は当期純損失(△)	△52	152

比較連結剰余金計算書

科目	当期	前期
	百万円	百万円
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	1,853	1,853
資本剰余金期末残高	1,853	1,853
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	5,445	5,383
利益剰余金増加高	453	152
当期純利益	—	152
その他増加高	453	—
利益剰余金減少高	128	90
配当金	75	75
連結会社減少による減少高	—	8
当期純損失	52	—
その他減少高	—	6
利益剰余金期末残高	5,771	5,445

比較連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当期	前期
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	837	414
減価償却費	937	705
連結調整勘定償却額	△ 42	△ 42
貸倒引当金の増減額	△ 31	131
受取利息及び受取配当金	△ 51	△ 164
支払利息	178	190
為替差損	83	347
持分法による投資損失	61	118
売上債権の増加額	△ 3,264	△ 1,502
たな卸資産の増加額	△ 250	△ 2,288
仕入債務の増加額	3,218	1,635
厚生年金基金代行部分返上益	△ 141	—
リース資産処分損	148	—
その他	80	△ 697
小計	1,763	△ 1,151
利息及び配当金の受取額	52	198
利息の支払額	△ 176	△ 207
法人税等の支払額	△ 421	△ 475
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,218	△ 1,636
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 823	△ 1,682
有形固定資産の売却等による収入	35	4
無形固定資産の取得による支出	△ 67	△ 12
投資有価証券の取得による支出	△ 589	△ 166
投資有価証券の売却等による収入	555	36
貸付けによる支出	—	△ 2
貸付金の回収による収入	61	58
その他	△ 7	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 835	△ 1,747
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	—	293
短期借入金の純増加額	150	2,852
長期借入れによる収入	1,265	69
長期借入金の返済による支出	△ 186	△ 34
配当金の支払額	△ 75	△ 75
少数株主への配当金の支払額	△ 5	△ 6
少数株主からの払込	—	31
その他	△ 14	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,134	3,131
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 215	△ 78
現金及び現金同等物の増減額	1,301	△ 330
現金及び現金同等物の期首残高	4,066	4,401
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△ 4
現金及び現金同等物の期末残高	5,367	4,066

単独財務諸表

比較貸借対照表

科目	当期末	前期末
	百万円	百万円
資産の部		
流動資産	10,676	10,943
現金及び預金	1,796	1,325
受取手形	503	321
売掛金	6,284	7,409
商品	1,330	1,106
貯蔵品	1	0
前渡金	25	74
未収消費税等	368	388
未収入金	199	185
繰延税金資産	131	81
その他	84	92
貸倒引当金	△49	△43
固定資産	6,309	5,046
有形固定資産	151	43
建物	26	23
工具、器具及び備品	121	15
土地	3	3
無形固定資産	13	6
ソフトウェア	9	2
電話加入権	4	4
投資その他の資産	6,144	4,996
投資有価証券	1,135	928
関係会社株式	2,089	1,609
出資金	90	94
関係会社出資金	566	676
長期貸付金	—	52
従業員長期貸付金	5	7
関係会社長期貸付金	1,528	800
破産更生債権等	112	126
長期前払費用	6	26
前払年金費用	10	—
差入保証金	162	162
繰延税金資産	516	612
その他	74	84
貸倒引当金	△155	△185
繰延資産	2	4
社債発行費	2	4
資産合計	16,987	15,993

科目	当期末	前期末
	百万円	百万円
負債の部		
流動負債	10,204	7,565
買掛金	5,180	4,563
短期借入金	2,674	2,493
1年内返済長期借入金	1,668	68
未払金	232	40
未払費用	292	258
未払法人税等	32	3
前受金	37	60
預り金	28	16
賞与引当金	52	55
その他	5	5
固定負債	767	2,670
社債	300	300
長期借入金	130	1,798
退職給付引当金	176	391
役員退職慰労引当金	161	180
負債合計	10,971	10,236
資本の部		
資本金	2,144	2,144
資本剰余金	1,853	1,853
資本準備金	1,853	1,853
利益剰余金	2,140	1,882
利益準備金	34	34
任意積立金	—	—
別途積立金	1,600	1,600
当期末処分利益	506	247
その他有価証券評価差額金	△121	△121
資本合計	6,015	5,757
負債及び資本合計	16,987	15,993

比較損益計算書

科目	当期	前期
	百万円	百万円
売上高	44,071	39,989
売上原価	42,185	38,416
売上総利益	1,886	1,573
販売費及び一般管理費	2,168	1,967
営業損失	282	393
営業外収益		
受取利息	38	28
受取配当金	718	594
雑収入	52	62
	809	684
営業外費用		
支払利息	23	23
為替差損	0	121
雑損失	60	72
	84	218
経常利益	442	72
特別利益		
投資有価証券売却益	271	—
貸倒引当戻入益	—	61
厚生年金基金代行部分返上益	141	—
	412	61
特別損失		
投資有価証券評価損	43	127
関係会社株式評価損	195	—
和解処理損失	—	37
ゴルフ会員権評価損	—	12
貸倒引当繰入額	—	47
リース資産処分損	148	—
固定資産除却損	39	—
	426	224
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	429	△90
法人税、住民税及び事業税	54	△18
法人税等調整額	40	△81
	95	△99
当期純利益	333	9
前期繰越利益	210	276
中間配当額	37	37
当期末処分利益	506	247

比較利益処分

摘要	当期	前期
	百万円	百万円
当期末処分利益	506	247
利益配当金	37	37
	(1株につき6円)	(1株につき6円)
任意積立金	—	—
別途積立金	200	—
次期繰越利益	268	210

※平成15年9月16日に37百万円(1株につき6円)の中間配当を実施いたしました。

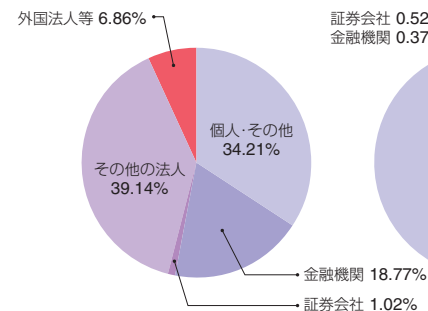
※貸借対照表・損益計算書・利益処分の記載金額は、それぞれ表示単位未満切捨てにより表示しております。

株式の状況

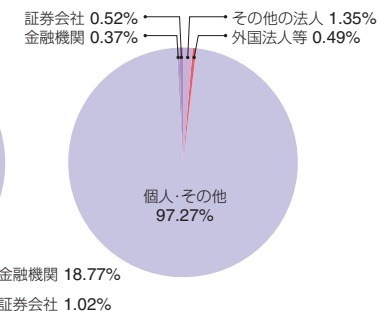
株式の状況 (2003年12月31日現在)

会社が発行する株式の総数20,000,000株
 発行済株式の総数6,300,000株
 当期末株主数.....2,667名

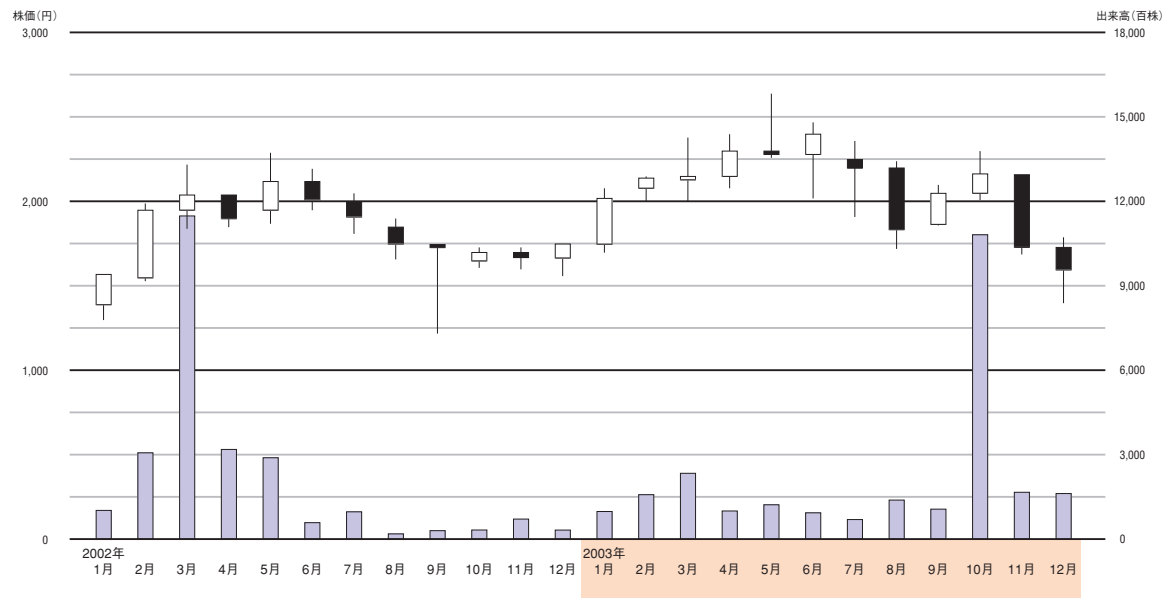
所有者別所有株数



所有者別株主数



株価・出来高推移 (2002年1月～2003年12月)



大株主 (2003年12月31日現在)

株主名	株式数	議決権比率
	株	%
サカティンクス 株式会社	2,349,000	37.29
村井 史郎	450,000	7.14
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社	419,000	6.65
ビービーエイチ フォー フィデリティー ジャパン スモール カンパニー ファンド	302,600	4.80
株式会社りそな銀行	220,000	3.49
株式会社三井住友銀行	200,000	3.17
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社	101,700	1.61
野村信託銀行株式会社	98,500	1.56
シークス社員持株会	94,500	1.50
株式会社東京三菱銀行	90,000	1.43

※当社の当該大株主への出資はありません。

会社概要

会社概要 (2003年12月31日現在)

商号 シークス株式会社
 設立 1992年7月1日
 資本金 2,144百万円
 従業員数 140名
 本社 大阪市中央区南本町1-8-14
 東京事務所 東京都千代田区神田須田町2-7-3
 URL <http://www.siix.co.jp>

役員および監査役 (2004年3月30日現在)

代表取締役会長 村井 史郎 CEO(最高経営責任者)
 代表取締役社長 村瀬 漢章 COO(最高執行責任者)
 取締役 橋詰 研作 総務部、システム管理室担当兼経理部長、業務部長
 取締役 大庭 勝躬 大阪営業部長
 取締役 宮田 光雄 東京営業部長
 取締役 戸上 幸一郎 デバイス営業部長
 取締役 近藤 恒雄 経営企画部長、関連事業部長
 取締役 吉田 泰 営業推進部長
 常勤監査役 嶋井 節夫
 監査役 北村 玄一 サカティンクス株式会社 常勤監査役
 監査役 肥田 久弘 サカティンクス株式会社 常勤監査役

※監査役のうち、北村玄一氏、肥田久弘氏は、商法特例法第18条第1項に定める社外監査役です。

関連子会社・事業所一覧 (2003年12月31日現在)

関連子会社	主な事業内容
●SIIX Singapore Pte. Ltd. : Singapore	電子部品等の輸出入販売
●SIIX H.K. Ltd. : China	電子部品等の輸出入販売
●SIIX TWN Co., Ltd. : Taiwan	電子部品等の輸出入販売
●SIIX Logistics Phils., Inc. : Philippines	電子部品等の輸出入販売
●SIIX Logistics Singapore Pte. Ltd. : Singapore	電子部品等の物流
●SIIX Bangkok Co., Ltd. : Thailand	電子部品等の輸出入販売
●SIIX (Shanghai) Co., Ltd. : China	電子部品等の輸出入販売・物流
●SIIX Europe GmbH : Germany	電子部品等の輸出入販売
●SIIX U.S.A. Corp. : Illinois, U.S.A.	電子部品等の輸出入販売
●SIIX Phils., Inc. : Philippines	電子部品等の輸出入販売
●PT SIIX Electronics Indonesia : Indonesia	電子回路実装および機器・部品の組立・加工
●SIIX EMS Dongguan Ltd. : China	電子回路実装および機器・部品の組立・加工
●SIIX EMS (Thailand) Co., Ltd. : Thailand	電子回路実装および機器・部品の組立・加工
●Nansha Sakata Ink Corp. : China	印刷インキの製造販売
●イスロン株式会社 : Japan	半導体の設計・開発
●Sluzba SIIX Electronics s.r.o. : Slovakia	電子回路実装および機器・部品の組立・加工

事業所

- SIIX U.S.A. Corp. San Jose Branch : Calif., U.S.A.
- SIIX do Brasil Ltda. : Brasil
- SIIX Corp. Seoul Liaison Office : Korea
- SIIX H.K. Ltd., Shenzhen Liaison Office : China



株主メモ

決 算 期	毎年12月31日
定 時 株 主 総 会	毎年3月
基 準 日	定時株主総会 毎年12月31日 そのほか必要のあるときは、 あらかじめ公告して定めた日
名義書換代理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	(住所変更用紙のご請求) ☎0120-175-417 (その他のご照会) ☎0120-176-417
(インターネットページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/ retail/service/daiko/index.html
同 取 次 所	住友信託銀行株式会社 全国各支店
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞に掲載する。ただし、商法特例法第 16条第3項に定める貸借対照表および損益計算 書に係る情報は http://www.siix.co.jp/jp/ir/koukoku.html におい て提供する。
1単元の株式の数	100株
上 場 取 引 所	東京証券取引所市場第二部 大阪証券取引所市場第二部
